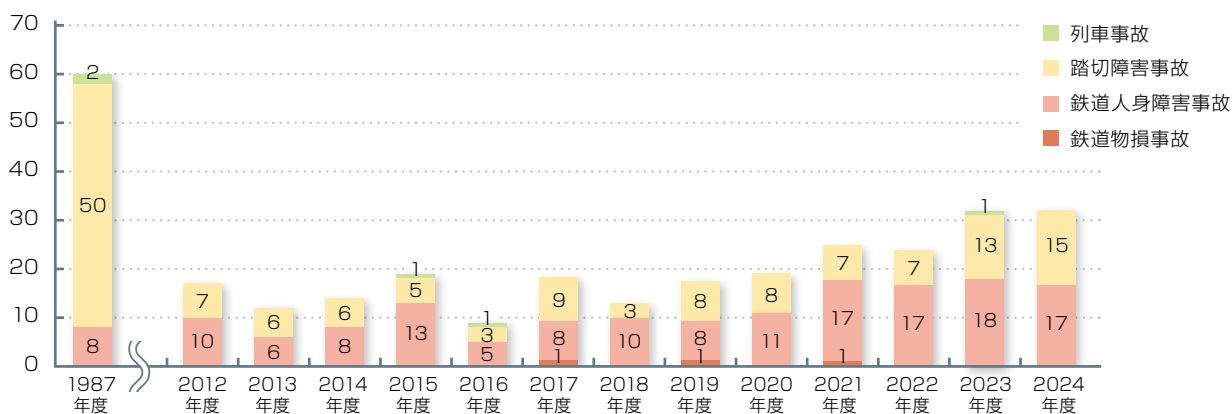


06-① 鉄道運転事故・輸送障害の発生件数

これまでの様々な取り組みにより、2024年度の鉄道運転事故発生件数は32件と会社発足当初と比べ、大きく減少しました。

【鉄道運転事故の発生状況】



※列車事故の概況

2015年度：東海道新幹線にて乗客1名が車内でガソリンをまき、自ら火をつけたことにより発生したと推定される列車火災事故

2016年度：東海道線において、列車と警報中の踏切内に入ってきた自動車が衝突したことにより発生した列車脱線事故

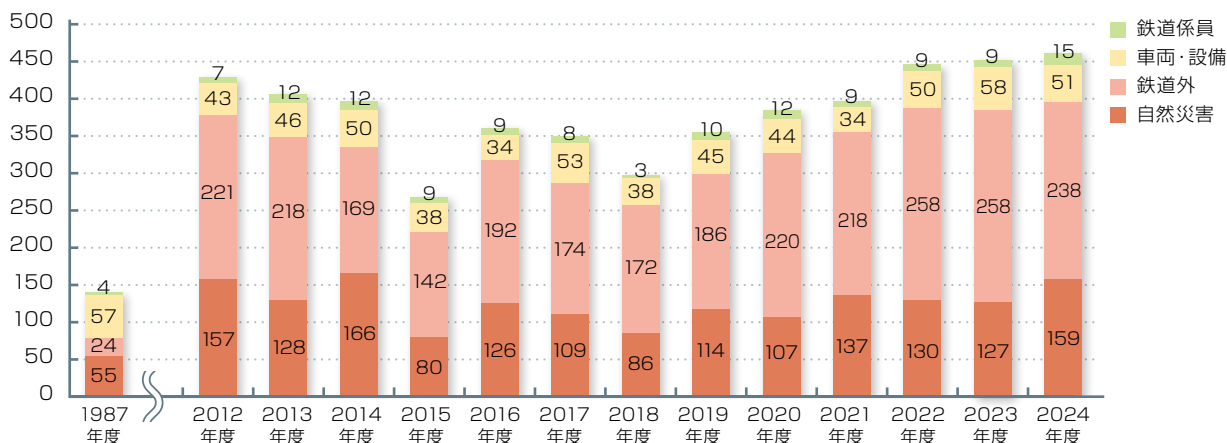
2023年度：飯田線において、列車と踏切内に停滞した自動車が衝突したことにより発生した列車脱線事故

注) 鉄道運転事故

列車事故	：列車の衝突、脱線、火災事故
踏切障害事故	：踏切において列車又は車両と歩行者又は自動車等とが衝突したもの
鉄道人身障害事故	：列車又は車両の運転により人の死傷を生じたもの
鉄道物損事故	：列車又は車両の運転により500万円以上の物損を生じたもの

また、輸送障害の発生件数は昨年よりも増加していますが、近年の異常気象による大雨などの自然災害や、動物との衝突や踏切内で自動車を検知したために列車を踏切手前に停車させたものなどの鉄道外の原因によるものが多数を占めています。

【輸送障害の発生状況】



注) 輸送障害

鉄道運転事故に該当しないもので、列車の運転を休止したもの
または、旅客列車が30分以上（旅客列車以外の列車は1時間以上）遅延したもの

06-② 主な鉄道運転事故等

2024年度においては、東海道線にて作業のため線路内に立ち入った関係会社社員が貨物列車と触車した鉄道人身障害事故が1件発生しました。なお、インシデントの発生はありませんでした。

注) インシデント : 鉄道運転事故等が発生するおそれのある事態

東海道線で発生した鉄道人身障害について

概 況：2024年12月10日、高塚駅構内にて受傷者他7名は、レール溶接作業を実施するため線路内に立ち入り、準備作業を開始しました。受傷者が下り線に立ち入ったところ、進んできた下り貨物列車に触車しました。貨物列車運転士は、高塚駅を定時で通過の際、出発信号機約50m手前にて、進行方向左側より進入してくる人影を認め、非常ブレーキを使用しましたが触車し停車しました。

主な対策：全従事員に対して触車事故を防止するための重要事項として網羅的に「基本動作の徹底」、「明確な作業指示、作業員との認識共有の重要性」、「線路内立ち入りに関するルール」、「計画段階での確認のポイント」について再教育を実施しております。また再教育後は、線路内作業における履行状況の確認を実施しております。